

発行
第5号

昭和41年1月1日

発行者 利尻町役場

印刷者 利礼資材印刷部

本報



1966. 1. 1 No. 5

まちのあゆみ

— 12月 —

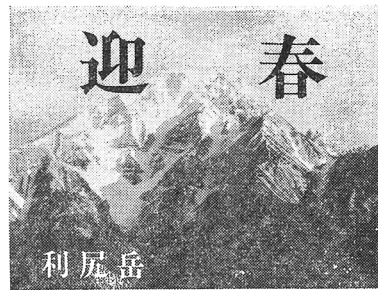
- 1日 役場、病院落成式
- 3日 杵形保育所開所式
- 15日 NHKテレビ開局
- 19日 新湊小落成式
- 20日 町議会
- 22日 青少年弁論大会

年頭の挨拶

利尻町長 小田桐 清実

輝かしい希望に満ちた昭和四十一年の新春を迎え、誠に御同慶に堪えません。

昨年は、災害の完全復興をめざして、都市計画による道路の拡幅、新設を行い、昭和三十九年度から持ち



越された役場、病院の完成を始めとし、これらの復旧事業のほか、三年

継続の新湊小学校の竣工、利尻高等学校の道立移管、杵形、仙法志中

学校の特別教室、教職員住宅、保育所公民館、火葬場など、町多年の懸案

事項は殆んど余すところなく着手し旧臘中に一部手直し工事を残しては

全部完成を見ましたことは、町発展のため、喜びに堪えない所であり、

町民の御理解ある御協力の賜でありまして、この機会に厚く感謝申し上げます。我が利尻町の昭和四十年の

歩みを顧み、その中から十大ニュースを拾い上げて見ると、①国定公園の指定 ②テレビジョン礼文放送局開設 ③役場、病院の落成 ④高校道立移管 ⑤愛の鐘 ⑥町営砕石事業の開始 ⑦町営清掃事業の開始 ⑧宗谷管内町村議会議員研修会 ⑨同消防幹部会 ⑩杵形港灯台移築などが挙げられ、明るい話題に富んだ年でありました。

昭和四十一年の年頭にあたり、特に抱負として申し述べたいことは、住民の一人一人が豊かで幸せになる町政の推進であります。

このことは、言うべくして、なかなか行いがたいことでありますが、優秀な人的資源の確保と、産業の振興を図り、所得の増大を期することであり、人材の育成と、基幹産業の伸展を図ることが先決問題だと考えられますので、これらに重点をおいて具体的な施策を練らねばならないと考えています。

年頭の辞

利尻町議会議長 蔵 信次

昭和四十一年の輝かしい新春を迎え、町議会を代表し謹んでごあいさつを申し上げます。

私は、就任以来、自らの姿勢を正し、行政水準を高めて、他町村との較差を縮めるべく、前進を続けて参りましたが、一昨年五月の未曾有の災害に遭い、いよいよ不撓不屈の精神と、情熱を燃やして、只「前進あるのみ」と、ひたすら前向きになつて進んで参りました。

もとより浅学非才であり、町民の御期待に副い得ないものも沢山あると思いますが、要は誠心誠意その事にあたり、小事にこだわらず、常に大局に立つて物を考え、判断し、多物を語らず、真摯な態度で、着実に物事を処理して行く所存であります。

今年、私に取つて任期最後の年であり、また、締めくくりをしなればならない重大な任務と、責任のある年柄でもありますので、固い決意と覚悟をもつて、町政にのぞみ、過去を大いに反省し、採長補短、素直に、住民の声を聞き、謙虚な気持で、生目(きめ)の細かな町政を行いたいと念願しております。

今年はずの年であり、跳躍が期待されています。町民の皆さんには一層御健康に留意せられ今年も明るく益々元気で、幸せでありますよう、心から祈念して新年の御挨拶と致します。

過ぎ去つた昭和四十年は、利尻町政にとつては画期的な年ではなかつたかと思ひます。すなわち一昨年か

ら継続して実施された病院、役場庁舎の復旧事業や、都市計画道路などがりつぱに出来上り、先づはほとんどと言つてよい程の火災復興が成りましたし、一方火災復興以外の事業につきましても、砕石事業が一応軌道に乗り、三ヶ年計画で行われた新湊小学校の新改築工事が完成するなど、町が事業主体となつて実施した事業費だけでも実に二億に近い巨額に達しました。又住民のみならずの永年の念願でありました利尻高等学校の道立移管や国定公園昇格、NHKテレビ放送局の開局がそれぞれめでたく実現するという明るいニュースもございました。

これら諸施設は今後永い将来に向つて利尻町民のしあわせを高める上に役立つものと存じみなさんとともに誠に同慶に堪えません。

このことは、理事者、議会、地域住民が郷土愛に燃え、一致協力して事に当つた賜であり、いたづらに批判や追及のみに走つていたのである今日の成果は得られなかつたものと信じます。

本年は昨年築き上げた施設の上に実を結ばせ、さらによりよい町政をしくために、町議会は全員心をひとつにして理事者と緊密な連繫をとりながら町民生活上の実現に献身致す所存でございますので、よろしくご協力下さるようお願い申し上げます。

終りに住民みなさんが今年も健康で過され、利尻町が益々発展するよう祈念しごあいさつといたします。

過ぎ去つた昭和四十年は、利尻町政にとつては画期的な年ではなかつたかと思ひます。すなわち一昨年か

年頭のことば

北海道知事 町村金五

道民のみなさま、あけましておめでとございます。

希望にあふれる新年を、みなさまとともに祝いできますことは、このうえないしあわせであります。

昨年は、心配された冷害も最少限度にとどまり、全般的に平年作に近い収穫をあげることができましたことは、なによりも喜ばしいことであると思います。このうちは、将来とも冷害

に負けない寒地農業を確立するため最善の努力を続ける必要があると存じます。

ご承知のとおり、昨年はわが国に多し一年でもあったのですが、本年におきましても、経済はもとより外交などの面においてきびしい局面を迎えるものと考えられる本道におきましても、本年は、昭和三十八年か

ら実施にはいりました第二期総合開発八か年計画の前期四年の仕上げをすべき時期と相成るのであります。このときに当り、わたくしどもは、いままでの実績に謙虚な反省を加え、将来の、いつそこの発展をはからなければならぬのであります。道民のみならずにおかれましては、それぞれの立場を通じて、本道の開発を推し進めるという強い意気込みをもつてご精進くださるよう切望してやみません。

さて北海道は、ことしで開道九十八年を迎えることになりました。われわれ道民は新たな決意をもつて、北海道百年という特筆すべき時点を迎えるものもろもろの準備をいたさなければならぬときであると思存します

先人の偉業と現代に受け継がれた開拓者精神は、独自の北海道文化を築いた精神的風土であり、われわれ道民が誇り得るものであります。わたくしは、この意味におきましても、本道の一時代を画するきたるべき年に、道民の総意による北海道百年記念事業を推進して参ることが道民すべてのためであり、先人の労苦にこたえる道であると信ずるのであります。

わたくしは、みなさまとともに、雄大な北海道の建設に向つて、新たな決意と大いなる誇りをもつて、努力を続けて参る所存であります。みなさまのご健康とご多幸をお祈りして、年頭のごあいさつといたします。

歳末たすけあい運動〆終る

義援金総額 十六万一千六百元

五百万道民が、みんなそろつて明るいお正月を迎えられるようにと、十二月一日から三十一日まで一カ月間「道民歳末たすけあい」運動が行われました。

この運動による義援金は、福祉施設のお年よりや恵まれない子どもたち、災害を受けた人や生活に困っている家庭などに、みんなであたかいたいの愛の手をさしのべようとするものです。

私たちの町の「たすけあい運動」は、ことしは、募金映画会を催し、畚形地区では純益十萬三千二百二十円、仙法志地区では、三萬三千三百十円となり、ほかに、役場若人会と土木現業所利尻会共催のダンスパーティーの収益二萬八千円が寄せられ、合計十六万一千六百三十円の募金となりました。

このお金は昨年中に、生活に困っている人や長期入院の人などに贈られて、非常に喜ばれました。町民の皆さんのご協力に心から感謝いたします。

火の用心

火災の多い季節

お互に火の元に注意を

年頭の挨拶

宗谷支庁長 高橋正四郎

管内の皆さん、あけましておめでとございます。

すがすがしい昭和四十一年の新春を迎えるに当り先づ最初に本年もよい年でありますことを祈り、皆さんと共に開発の促進と民生の安定に大いに努力をいたしたいと存じます。昨年は、ご承知のとおり春からの天候不順により一昨年から冷害ムードの中にあつて、とかく暗い気持ちに覆われがちでありましたが、幸い天候の回復と農民の皆さんのご努力によ、平年作にこぎつけ得たことに對し、心から感謝の意を表するものがあります。

又、昨年は利尻、礼文が国定公園

に指定されるにおよんで、管内は一躍脚光を浴びるに至り、両島に渡る観光客も増加の一途をたどつておりますことは、地域開発のためにも、まことに喜びにたえないところであります。今後は北オホーツク道立自然公園の早期指定と観諸施設の整備充実をより一層強力に推進して参る所存であります。

宗谷管内は自然的、経済的諸条件により、とかく後進地域と呼ばれ、幾多発展の基盤と力を内包しながらも、開発の進度が遅れていることは残念なことでありませぬ。然しながら近年、道路、港湾、漁港、河川改修土地改良、草地造成等への公共投資

の増大に伴つて、漸次産業の振興と住民生活の向上が齎られ特に酪農経営転換への努力が実を結びその経営も安定の兆しを見せ、いわゆる北海道らしい大規模にして雄大な典型的北方農業の確立が期待されていることは管内の特色であり誇りとするところであります。又漁業におきましても、漁業構造改善事業等の効果的な実施と天与の豊富な資源の加工増大によつて漁家経営の安定が推進されて参り、又、北海道唯一の漁業研修所と職業訓練所水産加工科の両施設が、近代的、科学的な知識、技術を短期間に修得せしめ、有能漁業後継者育成に努めている功績も大なるものがありません。今後一層の拡充整備が必要と痛感されます。

林業においても経済林防風雪林の奨励をはじめ林地の集団化、機械化など、その経営の近代化と共に林道網の整備、治山、治水事業も一層の推進が必要と存じます。一方管内の町村財政は相次ぐ給与改訂、物件費

の増高、投資的経費の増大などによる、町村財政が逼迫し、樂觀を許さない状況にあり、抜本的な対策を理事者と共に検討し、財政の健全化を図つて行く考えであります。

私はつねづね、あらゆる機会を求め、皆さんの声を道政に反映することが、努めて参つたところであります。管内では、なお潜在している諸問題を多くかかえていることを常に肌と感じており、これらの解決には皆さんと相携え決意を新にして努力いたす所存であります。

管内の総合開発を推進し、明るく豊かな生活設計のためには、何と申しましても、皆様方一人一人の旺盛な意欲と自主的な努力が不可欠でありますので、郷土に限りない熱情を懐かつてやみません。お祈りして年頭のご挨拶といたします。

昭和四十一年元旦

道路の除雪は皆んなの協力で

ことしは町のブルトーザーも参加

新しい年とともに、スキーなどを
楽しむ人には、うれしい雪がつも
ります。

しかし、道路を管理するものにと
つては、この雪がたいへんなことな
ります。

ちよつと「ふぶく」と交通途絶：
……ことしこそ、こんなことのない
よう市内土木現業所利尻出張所と町
では、次のような除雪計画をたてま
したが、とくに町民のみなさんの協
力をお願いします。

○除雪計画
ことしは除雪センター(土木現
業所利尻出張所)に配置される除雪
機械は四台で、
ロータリーHTR
六輪トラックTW二〇
シヨベルTCM
ブルトーザード五〇
となっております。

ご承知のように島内の積雪は、利
尻山の影響によつて、吹溜りや地吹
きの箇所が多く、しかも道路巾のせ
まい箇所、危険な箇所もかなりあり
ますので、吹雪がおさまつて見通し
が良くなつてから除雪車が出動しま
す。

夜間の除雪は原則として行わず、
朝五時十分にセンターを出発しま
す。

○除雪の方法
(1)杓形ノ鶴泊間は、主要幹線として
杓形側からは六輪トラックとロー
タリーが、鶴泊側からはグレーダ
ーが出動します。
(2)杓形ノ仙志間は、D五〇ブルト

ーザーが出るほか、六輪トラック
とロータリーが、杓形鶴泊間を開
通させた後に出動します。
なお、仙志地区は、杓形から仙
志診療所前まで土木現業所のロ
ータリーで診療所から元村、御崎
方面は町のD五〇ブルトーザーが
出動します。

(3)仙志ノ鬼脇間は、前期の区間が
開通してから、全除雪機械で仙志
志側と、鬼脇側の両方から除雪を
行います。

○路上障害物の整理を
ことしは、土木現業所に、昨年よ
り大型のロータリーが配置されま
したので、路上に障害物があると、事
故のもとになるばかりでなく、除雪
作業の能率が落ちます。とくに、市
街地では車、部落では雪囲い、船巻
ウインチ、漁船などは整理をして置
いてください。

また、整理のできないもの、たと
えば井戸、石垣などは、紅白の長い
柱か赤旗をたててください。
○建物などに損害を受けた場合
除雪作業は慎重に行い、運転手も
十分注意して除雪機械を運行いたし
ますが、作業中は物をこわしたこと
を知らないでいることもあります。こ
ら、こんなときには、土木現業所利
尻出張所(電話杓形八番)か役場又
は支所に連絡してください。

調査のうえ、損害の弁償をいたし
ます。ただし、道路の敷地内に置い
たもので、注意されても取り除かな
いものについては弁償しないことに
なっております。

○排雪にも協力を
市街地の排雪は、月に一回位行い
ます。積込みは、ロータリー又はシ
ヨベルを使い、運搬は、六輪トラッ
クを使いますが、運搬車が少ないの
で、交通安全協会などの協力を得た
いと思ひます。

また、積込みは機械を使います。か
ら雪が残ると思ひますが、道路に投
げ返さないで、みなさんで処理し
ていただくようにご協力ください。

○町道の除雪
町道の必要な箇所や港の連絡道路
は、町のブルトーザーによつて、町
が独自で行います。

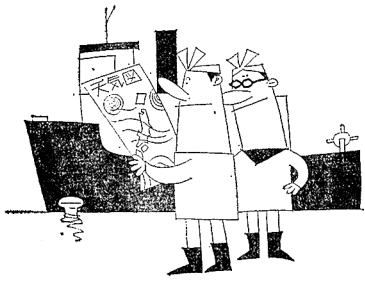
防止しよう

冬の海難事故

寒さのきびしい一月、は暴風雪の
荒れ狂う一年中で、もつとも海上の
危険な季節です。

北海道の周辺海域における漁船の
海難事故は、全海難の九十パーセン
ト以上を占めており、また全国的に
みても本道の漁船の海難事件数はそ
の三十パーセント以上を占めている

目先の漁獲より人命尊重



冬の家難事故防止

のが最近の実態で、本道周辺の海面
は海難の多発地域となつています。
多発するこの海難事故により、多く
の尊い人命が失なわれることは大き
な社会問題といえます。本道におけ
る海難の発生は、北方海域特有の異
状な気象条件に原因するものが多く
またこの季節は、すけそうたら漁業
汽船底曳網漁業、たら延縄漁業など
の盛期期でもあるため、海難がもつ
とも多く発生しています。さらに、
その原因について大別してみますと
出漁中の機関故障がもつとも多く次
ぎは、乗り揚げ、浸水、推進器障害
衝突、転覆炎害があげられますが、
特に冬期における船体水事事故は注
意が必要です。いずれの原因を究明
しても、まつたく不可抗力によるも
のはきわめて少なく慎重な注意力が
あれば防げる、いわゆる人為的な要
素によるものであり、海難は天災で
はなく、人災であるといわれている
ゆえんであります。

また、乗組員の過労に伴う海難も
おそれなくてはならず、船主は、この
点じゆうぶん配慮し、関係機関の指
導に基づき、労働条件の改善や船員
の船内居住設備の改善など、海難事
故の未然防止に努力することが望れ
ます。

かぜの予防

私たちが、いちばんかかる病氣、
それは「かぜ」です。かぜはいつた
ひるがやります。ものすごい勢いで
人がインフルエンザにかかり、小、
中学校が休校したり、学級閉ざをし
たところがたくさんあります。
かぜの大部分は、ウイルスという
細菌よりずっと小さいもので、鼻
や、のど、気管の粘膜に感染し、か

らだの抵抗力の弱つたときにあられ
だして、きむけ、くしゃみや、せき、
鼻汗、のどの痛み、発熱などの症状
があらわれます。ふつうのかぜの場
合は、この程度の症状です。みま
が、インフルエンザの場合にはもつ
とたちが悪く症状が強くなります。
インフルエンザもふつうのかぜも
感染したウイルスが、からだの抵抗
力の弱つたときにつけこみ病氣をお
こすので、かぜを防ぐにはまず抵抗
力をつけると同時に、次の点にじゆ
うぶん気をつけましょう。

- 予防接種をうけよう。
- 防寒チヨッキを着るようになつてワクチ
ンによつてからだに抵抗力をつける
ことがいちばんよい手段です。
- 冷水、乾布まきつをしよう。
- 皮膚をきたえて抵抗力をつけるた
め、冷水乾布まきつをするのも若
い人たちにはよい方法です。
- 汗などのあとを拭きしよう。
- かいた汗が、ぬれた皮膚から蒸発
するとき、いつしよからだの熱が
うばわれ、これが「かぜ」のひくも
つになります。
- 湯がめ、うたたねに用心しよう。
- 入浴した後、一、二時間たつたと
き、いちばんからだの冷えるとき
です。から、じゆうぶん気をつけるこ
とがたいせつです。
- 「かぜ」が流行しているときは外
出はなるべくさけよう。
- ウガイをしよう。
- ウガイは、のどについているバイ
ルスや細菌を洗い落とすのに役立ちま
す。
- 規則正しい正活をしよう。
- 栄養をとりましよう。
- 栄養の不足や、かたよりは「かぜ」
に対する抵抗力を弱くします。と
くに冬ビタミンが不足がちになるの
で、できるだけ野菜やくだものを食
べましよう。

NHK礼文テレビ局が完成

十二月十五日開局

かねてから礼文島香深に建設をすすめていた。NHK礼文テレビジョン放送局は、去る十二月八日、北海道電波監理局の検査も終り、同十五日正式に電波を放射しました。

NHK礼文テレビジョン放送局は、稚内テレビ放送局の電波をうけ、総合テレビジョンは第四チャンネル教育テレビジョンは、第十二チャンネルで放送する無人放送局です。

この放送局の完成により、これまで、NHKのテレビジョン放送がよみえなかつた、当町の杵形地区のほとんどもがよい画と、はつきりした音で、放送を受信できるようになりました。

また、NHKでは、サービス地域内の受信状況の調査や、相談を行います。

このほか各テレビ店でもあらゆる受信相談に応ずることになっています。

一般の利用を望んでいます。

よせばよいのに、玉手箱のふたを取った浦島太郎は、しらが頭をかかえて途方にくれたことでしょう。

龍宮城でおもしろおかしく過ごしてしまつた日々を思つて、後悔の涙を流したに違いありません。

他人ごとではありません。このように毎日の生活にもこと欠くようなお年寄りが、私たちのまわりになんとたくさんおられることでしょう。

いま、晴れて成人の日を迎えられ

成人と国民年金

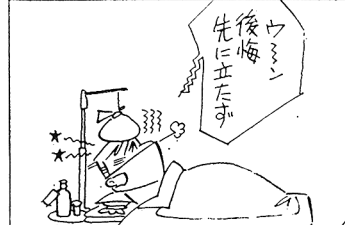
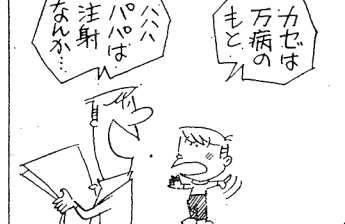
夢と希望に胸をふくらませているあなたがたには、少し冷酷な話ですが成人になつたといふことは、まづたいへんなことなのです。

昔は、元服といつて十五才になると、男は一人前のおとなとして扱われ、りりしい若武者姿で戦いに参加してしまつた。

しかし現在の日本では徴兵制度もなく、満二十才になつたからといつて兵役を心配することもありませんので、その点ではしあわせであるといえますが、そのかわり、さまざまな権利とともに、社会人として必ず果たさなければならぬ義務がいろいろ生じてきます。

中でも、社会保障制度に加入する義務は、それによつて国から援助をうけ、老後や万一の災難のとき保障をうけるといふあなたの生きる権利にもつながってきます。

国民年金は、厚生年金や共済組合、船員保険などに加入できない、漁業



に従事しているかた、小さな商店で働いているかたがたのための国の年金制度です。

この成人という機会をいつそ有意義にするため、該当されるかたは必ず加入してください。

加入の手続きは簡単です。印鑑をもつて役場か支所においでください。

盛會に終つた 青少年弁論大会

中学校の部第一位は 「杏中・児玉恵子」 ちゃん

年々ふえる青少年の非行を防止して、郷土を明るくしたい。その一つの試みとして、社会浄化への若き主張を求めて、若い世代の愛町意識の高揚を図るため、毎年、利尻町青少年問題協議会、町教育委員会主催で、稚内警察署の後援を得て実施している青少年弁論大会は、年の瀬も押しつた、十二月二十二日午後一時から杵形劇場で行われました。

この日、会場には、母校代表を声援しようとしてつめかけた生徒、父兄など六百名の見守るなかで、宮野青少年問題協議会副会長、渋谷警部

補の挨拶のあと、来賓の祝辞があつて弁論に入りました。

「地域社会における青少年の正しいあり方はどうあるべきか」をテーマに、利尻高校生六名、仙法志、久連杵形の各中学校から各五名の弁士が熱弁をふるひ会場から盛んな拍手をあげ、有意義な一日を終えました。

国勢調査概数

ままとまる

町の人口八千四百三人
五年間で六百三十三人の減

（40.10.1国調）

世帯数	人口			1世帯平均人口
	男	女	計	
1,717	4,400	4,009	8,409	4.9

昨年十月一日に行なわれた第十回国勢調査により、利尻町の人口と世帯数の概数がわかりました。

この結果によれば、総数八千四百三人で、男四千四百人、女四千三百七十七人

地区別世帯数及び人口 (40.10.1国調)

地区	世帯数	人口	
		男	女
利尻町	1,717	4,400	4,009
杵形	540	1,317	1,213
仙法志	2,708	6,083	5,896

前回(昭和三十五年)の調査では人口九、〇三六人、世帯数千七百二十八人で、人口では六百三十三人、世帯数では、十一がそれぞれへつております。

地区別の世帯数と人口は次のとおりです。